学校番号	２０１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう　　大修館書店						
副教材等	生活学 Navi2023						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分にとって「ゆたかな暮らし」とはどのようなことなのか考え、関心を持ち、自ら実践しましょう。
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習などを通して考え、理解を深め、知識を身につけます。周囲の人々の考えを知り、多様な考え方を学んだうえで、自分自身はどう考えるのかを見つめましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけましょう。そのために予習として事前に実習の流れの把握や基礎の復習に努めてください。
・学んだことを自身の生活課題、社会の課題としてとらえ、充実した生活を目指しましょう。そのために復習として小中学校での既知事項、時事問題などと合わせて授業内容を振り返り、自分の日常生活と照らし合わせてみましょう。また、自分の意見を柔軟的に持ち、他者にわかりやすく論理的に述べられることを求めます。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	A:知識・技能	B:思考・判断・表現	C:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を科学的に理解し、自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。	家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活を科学的に探究し、生涯を見通して生活を創造している。	自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け、地域社会に参画し、共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人の一生と家族・家庭及び福祉	１、生活のマネジメント ２、青年期の課題と自立 ３、家族・家庭生活のマネジメント ４、子どもの生活と子育てのマネジメント ５、高齢期の生活のマネジメント ６、共生社会をつくる	（知識・技能） 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深められている。 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、生活設計の工夫について考えられている。 青年期の課題である自立や、男女が協力して家庭を築くことの意義、現代の家族・家庭の機能や特徴について歴史的、文化的、社会的変化との関連から理解を深め、考察できている。 自立した生活を営むための様々な課題に対応して適切に意思決定ができるよう考え、その方法を工夫している。 （思考・判断・表現） 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察し、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察し、論理的に表現する力を身につけている。 子どもを産み育ていることの意義や高齢者の自立及び地域や社会に果たす役割の重要性について考察し、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することについて、問題を見出して課題を設定し、生涯を通して生活の課題を解決する力を身につけている。 （主体的に学習に取り組む態度） 生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとと	定期考査 レポート課題	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 レポート課題

			もに、生活を想像し、実践しようとしている。			
2	衣食住の生活の自立と設計	1、食生活のマネジメント 2、衣生活のマネジメント 3、住生活のマネジメント	（知識・技能） ライフステージに応じた栄養の特徴や、健康及び環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができている。 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 （思考・判断・表現） 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫する力を身につけている。 被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫する力を身につけている。 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫する力を身につけている。 （主体的に学習に取り組む態度） 健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を通して課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、よりよい生活を想像し、実践しようとしている。	定期考査 実技テスト レポート課題	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 実習 レポート課題
3	持続可能な消費生活・環境	1、経済生活のマネジメント 2、持続可能な社会をつくる 3、生活をデザ	（知識・技能） 契約するときの注意点、法律上の責任やクーリング・オフ制度の他、契約がキャンセルできる場合について理解している。 給料の仕組み、家計の構造(可処分所得、非消費支出)について理解している。 国民生活センターや消費生活センター	定期考査 レポート課題	定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 レポート課題

		インする	から情報を適切に収集・整理でき、消費者の権利と責任について理解している。 （思考・判断・表現） 生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、適切な意思決定に基づいて行動することなどについて、問題を見いだして課題を設定している。 自立した消費者として生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージと関連付けて、適切な意思決定に基づいて行動することについて問題を見いだし課題を設定し、その解決に向けて考え、工夫している。 自立した消費生活を営むために、家計の管理や計画、適切な意思決定に基づいて行動することなどについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 （主体的に学習に取り組む態度） 自らの消費行動における意思決定や契約の重要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 生涯を見通した経済の管理や計画の重要性について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 キャッシュレス化の進行による家計管理や計画の重要性について、課題解決に主体的に取り組み、解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとようとしている。 消費行動における意思決定や契約の重要性について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 自立した消費者として消費者の権利と責任や消費者問題に関心をもち、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充向上に向けて実践しようとしている。			